だちってとちぎ

JA全農とちぎ 通信

2023
4
Vol.265

特集

県本部長 就任のご挨拶
県本部長 退任のご挨拶
副本部長 就任のご挨拶
令和5年度　全農栃木県本部　機構図
令和5年度　子会社・関連会社　機構図

トピックス

技能コンテストを開催
花と苺のフェスティバル
とちおとめ・とちあいか／スカイベリーの目揃会を開催
かつ盛・虎の門・虎次郎での大抽選会　当選者を決定
「とちぎ和牛」購買者へ知事感謝状が贈られました
とちぎ和牛枝肉共励会を開催

CONTENTS

・お知らせ
　JA全農×JR東日本クロスステーション
　「栃木とちおとめ苺」を発売!
・簡単レシピ
　『新ごぼうの肉巻き』
・令和5年3月31日付退職者のご紹介
・子牛市場情報
・行事予定
・編集後記

©栃木県　とちまるくん

特集

県本部長 就任のご挨拶

全国農業協同組合連合会　栃木県本部
県本部長　中　村　昌　文

全農栃木県本部の事業運営につきまして、日頃より特段のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、池田県本部長の後任として４月１日付で県本部長を拝命いたしました中村昌文と申します。

農業・JAグループを取り巻く環境はかつてない厳しい状況にあり、本会の果たすべき役割と責任は大きく、その職責の重さに身の引き締まる思いであります。浅学非才の身ではありますが、全力で職務を遂行してまいる所存でありますので、ご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

さて、コロナ禍やロシアのウクライナ侵攻、世界的規模での自然災害や家畜疾病により、食料自給率や食料安全保障の重要性が改めて見直される一方、生産者の高齢化や農業就業人口の減少により生産基盤の脆弱化が進行しており、労働力不足への対応が急務となっています。さらに、穀物やエネルギー資源の争奪、物流の混乱等により肥料・飼料・燃料等の生産資材価格が高騰し、農家組合員の経営を直撃しています。

今まさに食と農の持続性が問われており、我々JAグループが一体となって役割・機能を果たしていくことが一層重要となっています。

そうした中で、本会は、中長期的視点での全体戦略と事業戦略（今次３か年計画）を策定し、昨年度から実践を開始しました。

特に、農業生産基盤の維持・拡大を最重点課題と位置づけ、JAと一体となって担い手や新規就農者の育成、スマート農業の普及および広域集出荷施設の設置や物流課題等への対応を強化いたします。

また、生産意欲の向上を図るには生産者所得の増大が不可欠であり、契約販売や実需者への直接販売を拡大するとともに、JAグループへの結集と産地とちぎブランドの確立により、農畜産物販売価格の向上、適正価格の実現に取り組んでまいります。

さらに、これまでも生産コスト低減に向け、様々な取組みを進めてまいりましたが、今回の輸入原料価格の高騰は想定以上のものがあります。生産者が将来にわたり営農を継続できるよう、共同購入の更なる拡大や堆肥を利用したBB肥料の開発、県域物流体制の見直し等、生産者視点で対策を講じてまいります。

また、関心が高まる環境保全型農業に対しても、JAグループを挙げて的確に対応し、社会的責任を果たしてまいります。

なお、県本部としては、このたび未来へつながる産地とちぎの実現に向けて、「全農とちぎ2030年ビジョン」を策定しました。ビジョンの達成に向けて、挑戦する勇気と覚悟をもって全職員で一丸となって取り組んでまいります。

引き続き、JAグループの総合力を結集し、「農家組合員のために」という基本姿勢のもと、JAと一体となって常に進化し続けることで、持続可能な農業・地域社会の実現に向けて取り組んでまいる所存でありますので、皆様のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げ就任の挨拶とさせていただきます。

以上

特集

県本部長 退任のご挨拶

全国農業協同組合連合会　栃木県本部
前県本部長　池　田　佳　正

陽春の候、JAならびに関係機関・団体、会社の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、３月末日をもって県本部長を退任いたしました。在任期間中は、皆様方の一方ならぬご指導とご支援を賜り深く御礼申し上げます。

振り返ってみますと、３年前に感染が確認されてから、私たちの生活環境を大きく変えた新型コロナウイルス感染症に始まり、地政学的リスクを起因とした資材価格（肥料、飼料、燃料、鋼材、副資材等）の高騰により、農家経営に深刻な影響を及ぼし続ける中での舵取りでした。一方で、海外輸入に依存する我が国の食料安全保障の強化や国内資源の活用が見直されるとともに、地球規模での大規模自然災害への対応として環境保全型農業への取り組みが注目される大きな契機となりました。

特に、主食うるち米については、コロナ禍での販売不振や大量の持越在庫を抱えたことで、４年産でも大幅な作付転換に取り組んでいただきました。まだ適正在庫に達していませんが、本県が作付転換に本気で取り組んでいるアナウンスができたこともあり、国の特別枠を最大限活用した結果、当初懸念された大幅な値引きをせずに販売を完了することができました。この間、お世話になりました皆様に改めて厚く御礼を申し上げます。しかしながら、適正在庫にするまでには、５年産も４年産と同水準の生産調整に取り組むことが必須となります。確実な生産調整の実施により５年産米の概算金では他県に負けない設定をして、系統結集・集荷拡大につなげていきたいと考えております。引き続き皆様のご協力をお願い申し上げます。

この間、JAと一体となって進めてきた「自己改革」の取り組みも着実に成果が現れています。未利用・低利用農家推進、買取・直販等による販売力強化、拠点型事業の一体運営・受託による経営資源の効率化とサービス力の高位平準化、JA域を越えた集荷販売物流基地（広域集出荷施設）の設置、生産振興による産地づくりの支援等にも積極的に取り組んでまいりました。

４月以降、全農栃木県本部は、中村昌文新本部長の体制となります。この流れを引き継ぎ、農業と地域社会に根ざした組織として、専門性と総合力を存分に発揮し、活力ある「産地とちぎ」を組合員・JA役職員の皆様と共に、持続可能な農業と地域社会の実現に取り組んでまいりますので、引き続きご指導・ご協力をお願いいたします。

皆様方のご厚情に感謝を申し上げますとともに、各位の更なるご繁栄を祈念申し上げ退任の挨拶といたします。

以上

副本部長 就任のご挨拶

全国農業協同組合連合会　栃木県本部
副本部長　佐　藤　和　弘

全農栃木県本部の事業運営につきまして、日頃より特段のご理解・ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

このたびの定期人事異動により副本部長を拝命いたしました。担当させていただく部門は、米麦部・園芸部・畜産部の３部門となります。農業・JAグループを取り巻く情勢が一段と厳しさを増し、本会に対する期待が高まる中、副本部長としての職責の重大さを考えると身の引き締まる思いであります。

現在、生産の現場では高齢化や担い手不足により、生産基盤の脆弱化が懸念されています。また、消費の現場では個食化・簡便化が進み、多様化するニーズに対する迅速かつきめ細かな対応が求められています。

さらに、ロシアによるウクライナ侵攻や円安等により生産資材価格が高騰し生産者の農業経営を圧迫しており、各種対策の継続・拡充が求められる状況にあります。時々の情勢を冷静に見極め、柔軟性をもって取り組み、課題解決に正面から向き合ってまいります。

まさに日本の農業はかつてない大きな転換期を迎えており、生産者が夢と誇りを持って営農に専心できるよう、JAグループの総力を再結集し、生産振興と販売力の強化・生産コスト削減の取り組みをさらに拡充させ、生産者の所得増大と農業生産の拡大、地域の活性化の実現に向けて取り組んでいく必要があります。

全農としては令和４年度を初年度とする３か年計画において、①「生産振興」、②「食農バリューチェーンの構築」、③「海外事業展開」、④「地域共生・地域活性化」、⑤「環境問題など社会的課題への対応」、⑥「JAグループ・全農グループの最適な事業体制の構築」の６つの全体戦略を設定しています。「持続可能な農業と食の提供のために“なくてはならない全農”であり続ける」、その実現に向け取り組んでまいります。実践面では、現場・現物・現実を基本に、戦略的思考で部門間連携の強化とJA域を越えた事業連携を主導することにより、事業改革の取組みを深化するとともに、新たな事業分野の開拓などをとおして2030年ビジョンの達成に向けて邁進してまいります。

経営理念を揺るぎない軸として、生産者・消費者双方から信頼される「産地とちぎ」を確固たるものにするために、常に変化を恐れず勇気を持ってチャレンジするという強い信念をもって、全力で職務を遂行してまいる所存であります。皆様方の一層のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

以上

特集　令和5年度　全農栃木県本部　機構図

（令和５年４月１日現在）

- 総代会（総会）
  - 経営管理委員会
    - 経営管理委員会副会長
    - 経営管理委員会会長
    - 理事会
      - 常務理事
      - 代表理事専務
      - 代表理事理事長
      - 副本部長
        - 栃木県本部長
          - 佐藤　和弘（米麦・園芸・畜産）
          - 古澤　伸明（管理・営農販売企画・パールライス・生産資材・生活事業）
          - 中村　昌文
        - 県本部運営委員会
        - 管理部
          - 部長：高瀬　和幸
          - 専任部長：塚原　稔
          - 次長：渡辺　孝行
          - コンプライアンス推進課
            - 課長兼務：塚原　稔
          - 企画管理課
            - 課長：長谷川　喬
          - 総務課
            - 課長：荒牧　俊夫
          - 総合支援課
            - 課長兼務：渡辺　孝行
          - 物流対策課
            - 課長：野口　俊仁
            - 総合物流センター
            - 県域物流配送拠点
          - 施設住宅課
            - 課長：江連　一裕
            - 全農栃木一級建築士事務所
        - 営農販売企画部
          - 部長：日下田　信
          - 総合販売企画課
            - 課長：田邉　伸悟
          - 担い手支援課
            - 課長：中田　紀博
            - いちごゆめファーム
        - 米麦部
          - 部長：冨田　康之
          - 米穀課
            - 課長：吉田　浩之
            - 東京事務所
          - 米麦総合課
            - 課長：渡邉　正和
            - 検査協会
            - とちぎ米広域集出荷センター
          - 農産課
            - 課長：関谷　教夫
        - パールライス部
          - 部長：杉山　昌史
          - パールライス販売課
            - 課長：鈴木　宏明
          - パールライス業務課
            - 課長：見目　和久
          - パールライス製造課
            - 課長：安野　徹
            - 精米工場
            - 品質管理室
        - 園芸部
          - 部長：荒井　真一
          - 次長：黒崎　一則
          - 園芸総合課
            - 課長：加藤　大
          - 流通対策課
            - 課長：小澤　貴洋
          - 東京青果事務所
            - 所長：高橋　公一
          - 広域集出荷施設課
            - 課長：稲見　定幸
          - 広域集出荷販売課
            - 課長兼務：黒崎　一則
          - 園芸資材課
            - 課長：荒川　直也
            - 園芸種苗総合センター
        - 生産資材部
          - 部長：金田　豊
          - 次長：猪瀬　秀忠
          - 肥料農薬課
            - 課長：福川　達夫
          - 肥料農薬推進課
            - 課長：豊田　寛
          - 農業機械課
            - 課長：増渕繁一郎
          - 農機一体運営課
            - 課長：黒川　英利
            - はが野広域農機センター
            - しもつけ広域農機センター
            - なす南広域農機センター
            - おやま広域農機センター
            - しおのや広域農機センター
            - うつのみや広域農機センター
        - 畜産部
          - 部長：関　昌則
          - 肉牛販売課
            - 課長：手塚　浩司
            - 東京畜産事務所
          - 食肉販売課
            - 課長：平野　泉
            - ミートセンター
            - アウトパックセンター
          - 畜産生産課
            - 課長：舩生　和孝
            - 家畜診療所
            - 矢板家畜市場
            - キャトルセンター
        - 本所くらし支援部 東日本生活事業所
          - 栃木推進課
            - 課長：國分　秀光
            - 専任課長：津久井　信
            - 各食材センター
  - 監事会
    - 監事

…変更部署（R4.4.1対比）

特集　令和5年度　子会社・関連会社　機構図

（令和５年4月1日現在）

◆㈱JAグリーンとちぎ

- 株主総会
  - 取締役会
    - 取締役会長
      - 代表取締役社長　菊地　和久
      - 常務取締役　園部　達朗／永山　登／米山　弘人
        - 生産資材事業本部　本部長　米山　弘人
          - 資材部　取締役部長　阿久津　剛
            - 資材加工課　課長　清水　展行
            - 資材推進課　課長　山田　将彦
          - 肥料部　専任副部長　八下田　圭介／部長　関　一夫
            - 肥料製造課　課長　平澤　哲也
            - 開発普及課　課長　稲葉　洋介
        - 運輸事業本部　本部長　永山　登
          - 運輸二部　副部長　石川　幸治／副部長　中山　雅仙／部長　高野　守一
            - 車両サービスセンター　所長　塚原　高広
            - 県南物流センター　所長　上野　栄
          - 運輸一部　副部長　宮内　照之／副部長　鈴木　伸周／部長　鈴木　伸周
            - 中央物流センター　所長　渡邉　竜夫
            - 上河内物流センター　所長　神山　敬英
              - 県北倉庫
              - さくら中継基地
        - 管理部　部長　中田　則秋
          - 管理課　課長　中田　則秋
  - 監査役協議会
    - 監査役　田波　宏夫

◆㈱ジェイエイ栃木ライフ

- 株主総会
  - 取締役会
    - 取締役会長
      - 代表取締役社長　野澤　紀之／参与　加藤　知明
      - 常務取締役　伊澤　雄一
        - 典礼部　部長　青木　哲也
          - 典礼3課　課長　松本　賢介
            - JAおやまおとめホール
            - JAおやま思川ホール
            - アトラス壬生ホール
          - 典礼2課　課長　佐藤　春樹
            - アトラスかみのかわホール
            - アトラス悠久の丘相談センター
            - アトラスファミリーホール鶴田
            - アトラス宇都宮ホール
          - 典礼1課　次長　磯　公一
            - アトラス高久ホール
            - アトラスファミリーホール大田原
              - すずらん式場
              - りんどう式場
              - あじさい式場
              - アトラス大田原ホール
        - 業務課　課長　太田　信義
          - 盛篭センター
        - 管理部　部長　伊澤　雄一
          - 管理課　課長　佐藤　雅明
  - 監査役協議会
    - 監査役

◆㈱JAエルサポート

- 株主総会
  - 取締役会
    - 取締役会長
      - 取締役副会長
        - 代表取締役社長　山口　芳春
        - 常務取締役　久保　芳宏／黒川　満広
          - 管理部　部長　吉永　篤典
            - 経営企画課　課長　森　愛弓
            - 総務人事課　課長　吉葉　賢一
            - 経理課　課長　大森　未来
            - 管財課　次長　高田　勝仁
            - リスク管理室　課長　吉崎　直史
          - エネルギー事業部　部長　高津戸　敦
            - 事業開発課　課長　川村　宗世
            - コールセンター　課長　益子　篤
            - 営業課　次長　箕輪　宗明
              - 県北支店　支店長　月　圭市
              - 県中支店　支店長　大島　康寛
              - 県東支店　支店長　高村　耕策
              - 県南支店　支店長　福田　孝明
              - 建設工事課　課長　吉本　淳治
            - ガス・電力課　次長　和泉　栄明
            - 石油課　次長　青木　孝行
              - 石油県北支店　支店長　大和　慶之
                - 戸田SS
                - 黒羽SS
                - 大田原SS
                - 矢板SS
                - さくらSS
                - 県北DC
              - 石油県中支店　支店長　伊藤　和幸
                - 岡本SS
                - 川田SS
                - 上三川SS
                - 日光SS
                - 鹿沼SS
              - 石油県東支店　支店長　佐藤　章三
                - 馬頭SS
                - 烏山SS
                - 真岡SS
                - 益子SS
                - 茂木SS
                - 芳賀SS
                - 県東DC
              - 石油県南支店　支店長　大塚　貴広
                - 栃木SS
                - 小山SS
                - 思川SS
  - 監査役協議会
    - 監査役　生井　博之

…変更部署（R4.4.1対比）

TOPICS

技能コンテストを開催

農機センターの信頼度向上を目指して

本会生産資材部は2月21日、農機担当職員の士気と技術力を高め、農機センターの信頼度向上を図ることを目的として、「令和4年度技能コンテスト」を開催しました。各広域農機センターと本会の若手職員（業務経験5年未満）を対象に行い、計7名が参加しました。

審査委員長を務めた本会農機一体運営課の猪瀬課長は「農家に安心して見てもらうこと、信頼してもらうことがこの仕事の原点」と、若手職員らを鼓舞しました。競技は「セーフティローダー荷台へのコンバイン積み込み」と「荷台に載せられたコンバインへのロープ掛け固定」の2種目で行われ、審査の結果、うつのみや広域農機センターの磯さんが最優秀賞を獲得しました。おめでとうございました！受賞者は以下の通り（敬称略）。

	受　賞　者
最　優　秀　賞	磯　健太郎（うつのみやC）
優　　秀　　賞	手塚　貴喜（はが野C）
優　　秀　　賞	篠田　敦大（農業機械課）

最優秀賞：磯　健太郎さん

花と苺のフェスティバル

2月25日、26日、とちぎ花センターにて「令和4年度花と苺のフェスティバル」が開催されました。

本会園芸部は、センター内にある鑑賞大温室にて、「感謝の気持ちを花に込めて」と題したフォトスポットを設置しました。

コロナ禍以降、初の従来通りの開催となり、多くの来場者に「とちぎの花」と触れ合っていただきました。

とちおとめ・とちあいか／スカイベリーの目揃会を開催

「信頼される産地とちぎに向けて」～消費者に喜ばれる、魅力ある商品づくり～

本会園芸部は2月24日、「令和5年産とちおとめ・とちあいか第2回統一目揃会」を開催しました。当日は、市場関係者や各JA担当者、県の担当者など約50名が参加し、出荷規格・申し合わせ事項の確認やカラーチャートを用いた現物目揃えを行いました。

冒頭、同協会いちご部会の苅田部会長と本会園芸部の荒井部長から挨拶があり、暖候期に向けた販売への決意表明がありました。

また、3月3日には「令和5年産スカイベリー第2回統一目揃会」を開催し、同じく関係者ら約50名が参加しました。

出荷規格・申し合わせ事項の確認や現物目揃えの他、県よりいちごの生育概況等の報告がありました。

荒井園芸部長は「今後も正確な産地情報を市場に繋いで売り場確保に努める」と挨拶があり、続けて市場関係者からは、「気温が高くなってくるので色目の調整が難しくなるが、連日・早朝収穫と予冷を徹底してほしい」「安定した品質で出荷いただければ、販売は順調に進む見通し」との声がありました。

かつ盛・虎の門・虎次郎での大抽選会　当選者を決定

本会パールライス部は3月14日、(株)宮食が展開する「かつ盛」・「虎の門」・「虎次郎」にて2月に開催した「たくさん食べてとちぎの農家さんを応援しよう！大抽選会2023」の当選者抽選会を開きました。

本キャンペーンは、お米の消費が低迷する中で地元の生産者を応援すべく、栃木県産米の消費拡大を促進する目的で実施しました。

当日は(株)宮食の山口雄子社長や本会の中村副本部長、古澤副本部長らが1,771通の応募の中から「栃乃プレミア」「とちおとめ」「とちぎゆめポーク」の当選者を決定しました。

山口社長は「この企画は消費者にもスタッフにも楽しんでもらえて、売上げも伸びた。今後も農家さんが大切に育てたお米を届けていきたい」と話し、古澤副本部長は「今後も県産農畜産物の消費拡大に向け、協力して取り組んでいきたい」と挨拶しました。

「とちぎ和牛」購買者へ知事感謝状が贈られました

栃木県は3月、「とちぎ和牛」のブランド力向上と消費拡大に貢献した食肉販売卸売事業者5社―㈲丸金おおつか、㈱ウスネ、エスフーズ㈱、乙川畜産食品㈱、㈱スガワラ に対して知事感謝状を贈りました。

3月1日には県庁にて、うち4社の代表に福田県知事より感謝状が手渡されました。

福田知事は「とちぎ和牛を県内外の消費者へ積極的に提供することで、そのおいしさや品質の高さを日々 PRしていただいていることに心から感謝している」と述べました。

とちぎ和牛枝肉共励会を開催

本会畜産部は3月9日、東京都中央卸売市場食肉市場にて「第47回とちぎ和牛枝肉共励会」を開催し、県内各JAから計69頭のとちぎ和牛が出品されました。

審査の結果、「JAグループ栃木和牛販促委員会」の会長でもある佐藤和徳さんが最優秀賞を獲得しました。受賞された皆様、おめでとうございました！受賞者は以下の通り。(敬称略)

最優秀賞：佐藤和徳さん

	受賞者	管内JA
最優秀賞	佐藤　和徳	JAなすの
優秀賞1席	谷田部　明	JAかみつが
優秀賞2席	磯　　泰雄	JAなすの
優秀賞3席	篠﨑　孝行	JAおやま
優良賞1席	㈱シノザキ牧場	JAうつのみや
優　良　賞	平久井順一	JAしおのや
優　良　賞	角田　正雄	JAなすの
優　良　賞	㈱若菜畜産	JAしもつけ
優　良　賞	磯野　　均	JAなす南
優　良　賞	㈲加藤牧場	JAなす南

お知らせ

JA全農×JR東日本クロスステーション「栃木とちおとめ苺」を発売!

3月7日よりJR東日本エリアの自動販売機にて、栃木県産とちおとめ果汁を20%配合したドリンク『栃木とちおとめ苺』の販売を開始しました!

本商品は㈱JR東日本クロスステーション ウォータービジネスカンパニーの「acure made」とJA全農の「ニッポンエール」のWブランド商品で、いちごの甘味と酸味のバランスが楽しめます。

発売に先立ち、3月1日には関係者らが栃木県庁を訪れ、福田知事に試飲をしていただきながら商品の紹介及び発売報告を行いました。

また、3月15日～17日には発売を記念してJR東京駅地下で「とちぎイチゴマルシェ」を開催し、とちおとめドリンクや県産いちごの生果、加工品等を販売しました。うち2日間はとちぎフレッシュメイトがブースの前に立ち、いちご生果の試食提供を通じて栃木のいちごをPRしました。

県知事表敬訪問

とちぎイチゴマルシェの様子

簡単レシピ

新ごぼうの肉巻き

(アドバイス表2022年4月基本コースP11)

〈材料〉(2人分)

豚ロースうす切り	200g
新ごぼう(千切り)	20cm
塩	少々
みつば(5cm)	1束
小麦粉	適量
油	適量
Ⓐしょうゆ・酒・みりん・水	各大さじ1
白ごま	適量

■作り方■

1. 豚肉は一枚ずつ縦に広げる。
2. 鍋にお湯を沸かし、沸騰したらごぼうを入れて1分程度茹で、ざるに広げて水気をきり、塩を振って冷ます。
3. ①の手前にごぼうとみつばを適量ずつのせ、手前からきつめに巻く。
4. フライパンに油を熱し、③の小麦粉を薄くまぶして入れ、全体を転がしながら焼いて火を通す。
5. ④に混ぜ合わせたⒶを加えて全体を絡め、器に盛り付け、白ごまを振る。

ポイント!

栃木推進課 管理栄養士
髙橋雲世さん

ごぼうを積極的に食生活に取り入れると、食物繊維やミネラル、ポリフェノールなど健康維持に重要な栄養素をしっかり摂取できます。

ふれあい食材についてはこちらから!

[令和5年3月31日付退職者のご紹介]

お世話になりました。

	氏　　名	所　　属	
職　　員	池田　佳正	県本部長	定年退職
	加藤　知明	ジェイエイ栃木ライフ出向	定年退職
	小林誠一郎	とちぎ農産物マーケティング協会出向	定年退職
	隅内　広樹	JAグリーンとちぎ出向	定年退職　4/1付再雇用
	上野　　栄	JAグリーンとちぎ出向	定年退職　4/1付再雇用
	鯉沼　利道	生産資材部　肥料農薬推進課	定年退職
	森　　佳久	園芸部　東京青果事務所	
	大塚　　守	管理部　物流対策課	定年退職　4/1付再雇用
	小池　達也	管理部　施設住宅課	
技 能 職	杉野　隆男	パールライス部　パールライス製造課	定年退職　4/1付再雇用
嘱　　託	中山　喜一	生産資材部　肥料農薬課	

子牛市場情報　令和4年度3月矢板家畜市場成績書

	性　別	上場頭数	成立頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重(日令)	単価(kg)	前回比
1日	雌	150	149	926,200	185,900	583,346	286(292)	2,037	7,913
	雄	1	1	618,200	618,200	618,200	352(298)	1,756	−
	去　勢	221	219	1,089,000	374,000	716,843	321(290)	2,231	−29,528
	合　計	372	369	1,089,000	185,900	662,671	307(291)	2,157	−6,082
2日	雌	134	131	1,092,300	216,700	582,076	287(291)	2,022	17,763
	雄	−	−	−	−	−	−	−	−
	去　勢	191	189	1,048,300	327,800	754,559	320(286)	2,355	51,686
	合　計	325	320	1,092,300	216,700	683,949	306(288)	2,228	42,194
3月期合計	雌	284	280	1,092,300	185,900	582,752	286(292)	2,030	12,679
	雄	1	1	618,200	618,200	618,200	352(298)	1,756	−
	去　勢	412	408	1,089,000	327,800	734,314	320(288)	2,289	9,481
	合　計	697	689	1,092,300	185,900	672,553	307(289)	2,190	17,010
概況	3月の矢板家畜市場は、697頭上場にて689頭が成立し、前年同月比20頭増となりました。 平均価格は対前月比雌12,679円高、去勢9,481円高となりました。 購買者が多数来場したことで活発な取引となり、雌・去勢ともに前月を上回る平均価格となりました。 購買者数　1日目：153人　　2日目：144人								

○次回開催/2023年4月3日～4日　出場予定:各350頭(2023年5月の開催は、11日・12日です。)

4月の行事

- 3日(月)　矢板子牛市場　畜産部
- 4日(火)　矢板子牛市場　畜産部
- 11日(火)　県本部運営委員会　管理部

14日(金)CRT栃木放送(7:33～)
5日・12日・19日・26日(水)RADIO BERRY(17:15～)

編集後記

4月です。今年度も引き続き本誌を担当させていただくことになりました。デザインもリニューアルし、更に力を入れて作成してまいりますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします(^ ̄^)✧

記事の中にでてきたとちおとめジュース、そのままでもおいしいですが、私は牛乳で割る飲み方もおすすめです。いちごミルクがお好きな方はぜひお試しください♪　(みう)

だちつづとちぎ
2023 4
Vol.265
JA全農とちぎ通信　令和5年4月1日発行

とちあいか・とちおとめ・スカイベリー

栃木のいちごで キュン！愛を 贈ろうキャンペーン

第3弾

抽選で 計60名様に 当たる！
何回でも応募可能！

LINEで カンタン 応募！

A賞 選べる体験ギフトコース 15名

ものづくりの体験ギフト（GREEN）

B賞 おいしいご褒美コース 15名

とちぎ和牛 サーロインステーキ（250g×2枚）

賞品抽選に外れても！ Wチャンス

キッチンラップの代わりに密着して鮮度保持

フードハガーズ 5点セット 30名

※画像はイメージです。

対象商品

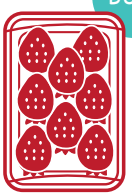
共選マークのあるJAグループとちぎに加盟しているとちあいか、とちおとめ、スカイベリー

このマークが目印！ TOCHIGI

応募期間 2023年4/8(土)～ 5/7(日) 23:59まで

応募方法

1. 対象商品を購入
2. JA全農とちぎとLINE友だちになる
3. 商品と購入時のレシートを撮影トーク画面に送信して応募！



こちらから！

Strawberry Kingdom 栃木 いちご王国

栃木のいちごは、安全・安心。
栃木県では、放射能モニタリング検査を行い、安全が確認されたいちごだけを出荷しています。

だちつづとちぎ JA全農とちぎ | JAグループ栃木

栃木いちご消費宣伝事業委員会 どんどんおいしくなります。栃木のいちご

編集・発行／JA全農とちぎ 企画管理課
〒321-0905 宇都宮市平出工業団地9番地25 ☎028(616)8804
https://www.zennoh.or.jp/tc/

ちきゅうにやさしい みどりをまもる
VEGETABLE OIL INK この印刷物は環境にやさしい植物油インクと再生紙を使用しています。
私たち全農グループは、生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋になります。
私たちは「安心」を3つの視点で考えます。
■ 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
■ 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
■ 地球の環境保全に積極的に取り組みます。